

社協のマークです



福祉の心を育てよう

下鶴間つきみ野地区社協だより

おりづる

発行兼編集

大和市下鶴間つきみ野
地区社会福祉協議会
会長 渡邊 良久

連絡先

大和市つきみ野8-14-3
つきみ野スカイハイツ209号
渡邊 良久

電話(046)-277-0601

e-mail: ihsdyw@yahoo.co.jp

地区社協の活動について

下鶴間つきみ野地区社会福祉協議会

会長 渡邊 良久

下鶴間つきみ野地区社会福祉協議会では、役員会の元で5つの部会が活動しています。

◆総務部会(担当:大井忠雄 副会長)

毎月の役員会の開催・議事録の作成、年度当初の理事会・評議員会の準備・開催などの事務業務のほか、**つきみ野生鮮市場前での共同募金**、障害者作業所対象のお芋ほり、新年賀詞交歓会なども担当しています。

◆福祉事業部会(担当:浅利悟郎 副会長)

地域の77歳以上のお年寄りを対象とした「**敬老の集い**」を開催しています。今年は10月14日(水)に大和市保健福祉センターホールで開催の予定です。また、3月下旬から4月上旬には、地域の70歳以上のひとり暮らしのお年寄りや障害者作業所の方を対象とした「**お花見会**」を開催しています。

◆ボランティア部会(担当:児玉勢津子 副会長)

地域の自治会館などでお年寄りを対象に月1回開催している「**ミニサロン**」、ひとり暮らしのお年寄り宅を月2回訪問する「**ふれあい訪問**」、困りごとのお手伝いをする「**個別支援**」などを行っています。総勢約100名のボランティアが活動しています。

◆青少年部会(担当:小松俊子 副会長)

子ども向けに「**ふくし**」を体感できる催しを行っています。今年度は、10月24日(土)つきみ野まつりに子ども向けブースの出店、3月14日(日)に鶴間中学校で子ども福祉体験「**わんぱくピック**」の開催を予定しています。

◆広報部会(担当:大久保芳一 副会長)

地区社協の広報紙「**おりづる**」を年2回発行しています。また、**リーフレット**の作成、**紹介動画**の作成など地区社協活動の「見える化」を推進しています。



つきみ野生鮮市場前での
共同募金の様子



保健福祉センターホールでの
敬老の集いの様子



ミニサロンの様子
(ミニサロン山谷)



わんぱくピックの様子
(点字でめいしをつくってみよう)

地区社協って何?

～地区社協紹介動画DVD～

※PCで再生する場合は「Data」フォルダのファイルをご利用下さい。

動画 3分

→YouTubeでも視聴できます。

地区社協紹介動画DVD



←地区社協紹介
動画はYouTube
で視聴できます。

地区社協ってご存じですか?

「地区社協」とは、地域の住民が主体となり、地域の福祉課題をみんなで考え、支え合いながら解決していくための団体です。高齢者・子育て・障害者・生活困窮者・生活困窮者など、さまざまな課題を抱えている方々のために、様々な支援を行っています。

どんな活動をするの?

●高齢者の福祉活動(高齢者の生活支援、介護支援、認知症対応など)
●子育て支援活動(子育て支援センター、子育て相談など)
●障害者の福祉活動(障害者の生活支援、障害者就業・生活支援センターなど)
●生活困窮者支援活動(生活困窮者自立支援プログラムなど)

●その他、地域の課題に応じた様々な活動を行っています。

地区社協の活動は、地域住民の皆さんと一緒に進めています。

地区社協紹介リーフレット

地区社協って何?

地区社協って何?とは、地域の住民が主体となり、地域の福祉課題をみんなで考え、支え合いながら解決していくための団体です。高齢者・子育て・障害者・生活困窮者・生活困窮者など、さまざまな課題を抱えている方々のために、様々な支援を行っています。

どんなことをしているの?

●高齢者の福祉活動(高齢者の生活支援、介護支援、認知症対応など)
●子育て支援活動(子育て支援センター、子育て相談など)
●障害者の福祉活動(障害者の生活支援、障害者就業・生活支援センターなど)
●生活困窮者支援活動(生活困窮者自立支援プログラムなど)

●その他、地域の課題に応じた様々な活動を行っています。

地区社協の活動は、地域住民の皆さんと一緒に進めています。

地区社協紹介リーフレット

おりづるは→
このQRコード
でダウンロード
できます。



2026年度の事業方針（抜粋）と重要な取り組みについて

下鶴間つきみ野地区社会福祉協議会は、共に支え合う福祉のまちづくりのため、多くの関係団体やボランティアの協力により地域福祉の一翼を担ってきました。コロナ禍で従来の事業のあり方が問われる中、当地区社協では、地域福祉活動の見直しを行ってきました。「子どもまつり」の開催、「お花見会」「敬老の集い」など、工夫しながら開催し、地域の多くの人たちから喜ばれる取り組みとして進めてきました。

大和市社会福祉協議会では、2025年度から第7次地域福祉活動計画（パレット）がスタートし、孤独・孤立、ひとり暮らし、買い物困難など地域の特性に合わせ考慮すべき8つの問題を挙げています。

それらを踏まえ、当地区社協は、自治会、民生委員児童委員協議会、その他の地域団体・グループ・ボランティア等と連携し、誰もが安心して暮らし続けることができる地域福祉の実現を目指します。地域で暮らす方々とともに地域における福祉活動を進め、地域住民どうしの支え合い活動の推進を図ります。また、地区社協の活動の柱である「ミニサロン事業」、「ふれあい訪問事業」、「個別支援活動」を促進し、多くの方が一堂に会せる交流の場の提供を企画するなど、引き続き邁進してまいります。

会計様式の変更について

昨年度、大和市社会福祉協議会から地区社協の会計様式の変更が指示されました。地区社協の収入は、市社協助成金が大きな割合を占めますが、従来の会計では、市社協が支出する勘定科目と合致しておらず、市社協の助成金が正しく計上され、かつ正しく執行されているか確認しにくかったことが主な原因です。そこで、勘定科目を揃えるのと同時に、収入や費用の計上の仕方を変更することになりました。当地区では、多大な困難はありましたが、2025年度の決算に新様式を採用することができました。若干従来と比較しにくい部分もありますが、ご理解賜りたいと思います。

主な変更点

- ① 予算額と決算額の差異の統一
- ② 助成金の内訳表示
- ③ 受取利息の扱いの変更
- ④ 「積立金取り崩し」収入の追加
- ⑤ 前年度繰越金の扱いの変更
- ⑥ 交際費を渉外費に変更
- ⑦ 備品費、修繕費の明示
- ⑧ 次年度繰越金の扱いの変更

2025年度予算と2026年度予算

収入については、市社協助成金がやや減少の一方、当地区社協50周年事業の準備を開始するため、積立金の取り崩しを予定しています。

支出については、従来前年度繰越金を収入に計上し、収支差額をゼロとした予算を組んでおりましたが、新会計様式では前年度繰越金を含まずに収支ゼロを目指すことにより、前年度繰越金と次年度繰越金のバランスをとる方法となっています。

収入	2025年度予算	2026年度予算
市社協助成金	2,065,585	1,973,400
うち市社協会費還元金	840,000	840,000
市補助金	25,000	25,000
収益金・雑収入・負担金	90,000	50,000
寄付金収入	25,000	50,000
積立金取崩収入	0	200,000
収入合計	2,205,585	2,298,400

(単位:円)		
支出	2025年度予算	2026年度予算
事業費	1,896,000	1,755,400
調査・広報・研修費	160,000	100,000
事務費・会議費・渉外費等	373,000	318,000
助成金(民児協・自治会)	250,000	200,000
積立金支出	200,000	0
雑費・予備費	133,854	5,000
支出計	3,012,854	2,378,400
収支差額	△ 807,269	△ 80,000
前年度繰越金	807,269	484,910
次年度繰越金	0	404,910

(単位:円)		
支出(事業費内訳)	2025年度予算	2026年度予算
高齢者事業費	1,369,000	1,238,400
障がい者事業費	47,000	27,000
児童事業費	180,000	220,000
ボランティア活動費	120,000	120,000
賀詞交歓会費	180,000	150,000

地区社協からの話題・でんごん板

「わんぱくピック」が開催されました

3月15日(日)つきみ野中学校で、第4回福祉体験子どもまつり「わんぱくピック」が開催されました。参加者はこども119人、おとな70人。運営スタッフ、中学生ボランティア、高校生ボランティアを入れると、総勢276人でした。

ラダーゲッター、車いす玉入れ、おじいちゃんおばあちゃん体験、モルックなどが好評で、子どもからの「たのしかった!」という感想や、保護者からの「こどもたちに色んな体験をさせられてよかった!」などの感想が寄せられました。



私とボランティア

元気のもとボランティア

しゆく
宿いしい しずえ
石井 静江 さん

還暦を過ぎた頃、地域包括支援センターの「介護予防サポーター講座」を受講しました。以来、地域包括支援センターの方のご指導のもと色々なボランティアを体験することになりました。

オーラルフレイル予防健口推進員として色々な所で口腔体操の指導をしたり、認知症カフェ「野ばらカフェ」では、共におしゃべりしたり、歌を歌ったりして楽しい時間を過ごしています。「茶OH」(チャオ)は、高齢者を対象に、サポーター3人がコーディネーターとなり、月2回、個人のお宅でテーブルを囲みお茶を飲みながらおしゃべりしたり、歌を歌ったり、革細工をしたり、とても楽し

かったのですが、コロナのため休止せざるを得なくなり、またその後幾つかの不運も重なり、結局その活動は出来なくなってしまいました。

現在、地区社協のボランティアとして、ミニサロンのリーダー、ふれあい訪問のブロック長をしています。ささやかながら充実した日々です。でも年齢を考えると、ボランティアはもう無理かしらと思う時もあります。しかしボランティア活動での色々な方との交流はとても有難く、今の私の元気は、ボランティアのお陰と思ったりしています。



1年間の事業・行事の開催について

スケジュールは中止、あるいは変更になる可能性があります。

5・6・7・8月

- 理事会 …… 5/8
- 評議員会 …… 5/25

9・10月

- おりづる88号の発行 …… 9/1
- 敬老の集い …… 10/14
会場: 大和市保健福祉センターホール

11月

- お芋ほり …… 11/10(雨天11/12)
- ボランティアの集い …… 11/13

12・1・2・3月

- 年末たすけあい街頭募金 …… 12/5
生鮮市場入口前13~15時
- 賀詞交歓会 …… 1/10
- おりづる89号の発行 …… 3/1
- 「愛の小箱」の回収

3月

- 地区社協福祉体験子どもまつり「わんぱくピック」…… 3/14
幼児・小学生・中学生対象。
鶴間中学校にて開催。
- お花見 …… 3月下旬~4月上旬



4~3月通年

- ふれあい訪問の実施
ひとり暮らしの高齢者宅を定期的に訪問し、見守り、安否確認、介護予防に寄与します。
- ミニサロンの開催
- 個別支援活動
高齢者世帯・障がい者世帯の生活のなかでの困り事の支援をします。



ミニサロン山水会は、高齢の方の交流の場として、毎月第3水曜日に山王原上自治会館で活動しています。手芸、折り紙、ラジオ体操、あるいはビンゴゲームやかるた、トランプに興じたりしています。交番のお巡りさんによる防犯、詐欺などの注意喚起、保健師、歯科衛生士、理学療法士等専門職の方々からフ

レイル予防、軽い体操等、健康で長寿を目指すご指導を頂き、「為になるわ!」と楽しく学んでいます。桜の頃は、お花見をしながらマクドナルドまで散歩をし、おやつを頂きました。バス旅行で訪ねたJAXA宇宙科学研究所で人工衛星を見学したり、学生さん達と食堂で食事をしたことも思い出深い行事です。コロナ禍、山水会は一時期休止しましたが、会員の方々にも色々変化がありました。

施設に入所されたり、ディサービスを受けるようになったり、様々な事情で引っ越されたり、また残念ながら1年の間に3名の方が亡くなられ、会員は半減してしまいました。改めて会員の皆さんにミニサロンでしたい事を尋ねると「喫茶店でお茶したい」という意見が出、ドールコーヒーまで歩きケーキとお茶で楽しいひと時を過ごしました。「外に行きたいけれど1人では行かれない。また計画して」という声を大切にしたいと思っています。これからも会員に寄り添い共にミニサロン山水会を作っていきたいと思っています。



私の健康法

「歩き」と「男性合唱」

あべ たてお
つきみ野スカイハイツ 安部 建雄さん

福岡生まれ、82歳です。1978年に当地へ。大和市民となり、ほぼ50年となります。

元来歩くのが好きで、大山・鎌倉の旧街道、神社・仏閣などを散策していましたが、歳とともに「歩き」を健康法として意識するようになりました。今では日課です。いくつかコースもでき、上記に加えて畑で旬の野菜、公園で季節の花、川づたいに水鳥、小さな森で野鳥、などと、鑑賞、観察を楽しみながらのウォーキングです。

学生時代から続けている「男声合唱」が頭の体操となってきました。もちろん音楽を楽しむのが第一ですが、歳とともに衰える音感、リズム感、ハーモニー感覚を維持するための訓練は、体操、発声とかなりハードですが、いい刺激となり、一種の老化防止・健康法となっています。90歳過ぎの現役シンガーが団に数多くいます。いい目標です。健康第一ですね。



愛の小箱

2025年度は、総額 **40,298円** 集まりました

「愛の小箱」設置協力店

(順不同・敬称略)

山金商店	下鶴間コミセン	つきみ野自治会館
下鶴間郵便局	美容室たんぽぽ	WASHIN(和心)
花物語やまと	中華キッチン彩々	大和外科内科
公所コミセン	会津クリーニング	クリニック

ご寄附いただいた皆様、協力店様ありがとうございました。

いただいた浄財は地区社協の事業や様々な活動に活用されており、地域の皆様に喜ばれています。

これからもご協力よろしくお願いいたします。

編集後記

当地区社協で広報担当として一年が過ぎ、社会福祉とは何か、何をするのかを少し分かることができました。協議会員としての仕事は、年齢や障がい、経済状況などハンディキャップをもつ人が安心して暮らせるように支援する制度や取り組みに努め、さまざまなサービスや支援を市と連携し提供しています。高齢化や少子化が進むなか、社会福祉の重要性は高まっています。自分にできる形で社会福祉に関わることで、社会全体を支える一員として活躍できればと思います。

インフォメーション

みなさまからお預かりした会費は、地域の福祉活動の貴重な財源になっています。令和7年度の会費の額と使いみちは次のとおりです。



さらに詳しくは下のQRコードから



お問合せ 大和市社会福祉協議会 ☎046-260-5633